

# 令和2年第11回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和2年12月17日（木曜日）			開会	10:00	会議場所	委員会室2・3		
				閉会	11:00				
委員の出欠	1 番	宮越 正人	出席	6 番	大内 省吾	出席	9 番	今西 和雄	出席
	10 番	小林 敏之	出席	11 番	瀧川 榮子	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長兼水産みどり課長		農政課長		商工観光課長	
		門脇 芳則	出席	小湊 昌博	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席
		農政課主幹		商工観光課主幹		商工観光課主幹		水産みどり課主幹	
		上田 健一	出席	岩口 裕昭	出席	堀込 美穂	出席	大坂 恒夫	出席
		農政課主査		農政課主査		水産みどり課主査			
		武田 文吉	欠席	寺澤 淳司	出席	古里 達也	欠席		
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長兼管理課長		事業課長		建築住宅課長	
		山岸 英一	欠席	伊藤 一成	欠席	袴田 充輝	欠席	川畑 智明	欠席
		上下水道課長		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査	
		外石 昭博	欠席	廣島 静治	欠席	福原 仁史	欠席	前道 陽司	欠席
		管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査		事業課主査	
		伊藤 武史	欠席	入田 浩明	欠席	篠田 敬介	欠席	佐竹 和仁	欠席
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査			
		中村 公一	欠席	椋木 直人	欠席	藤巻 成司	欠席		
委員外の出席						合計	名		
事務局職員	事務局長	小島 実				合計	1名		
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。		
委員長 9番 今西	10:00 開会		
	出席委員5名、会期1日		
委員長 9番 今西	挨拶		
	【産業振興部所管事務調査】		
産業振興部長 門脇	挨拶及び概要説明		
委員長 9番 今西	議事1 議案の審査について		
	(1) 公の施設に係る指定管理者の指定について(本会議で説明済み)		
	議案第107号 別海町酪農研修牧場		
	議案第108号 別海町営畜牛育成牧場		
	議案第109号 別海町資源循環センター		
委員長 9番 今西	質疑		
委員 11番 瀧川	・資源循環施設は老朽化しているが、3年の指定管理期間でのふん尿処理については十分対応できるのか。また、この3年間は酪農家が自前でふん尿を処理するための準備期間なのか。		
農政課長 小野	・稼働については、売電は故障で売上げはないが、産業廃棄物の受入れは増加し、経営は順調で黒字化しており町からの指定管理料の助成はない。家畜ふん尿の処理は施設の稼働にまったく影響はない。		
産業振興部長 門脇	・施設が老朽化しているので、指定管理の期間も故障した場合は指定管理者と協議した上で、金額によっては町としても修理代を負担しなければならないと考えている。		
農政課長 小野	・3年の間に酪農家が自前でふん尿処理に移行はできないと考えている。		

# 令和2年第11回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>国営かんがい排水事業で施設を設置できるように国と協議中。5年以上の年月がかかると思われる。その間は資源循環施設を利用していく。 具体的なことが決まったら委員会に報告したい。</p>
委員 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海町営畜牛育成牧場は指定管理期間1年間なのか？</li> <li>・本会議でも説明したが、平成26年にJA道東あさひ農協のキャトルセンター建設にあたり、育成牧場と連動した管理運営ができないかと協議してきた。令和3年4月1日に移行するとしていたが、コロナ禍の影響で農協内で理事組合員に十分な説明ができないことと、町と農協の間でもさらに踏み込んだ協議が必要として1年間先延ばししたものである。</li> </ul>
農政課長 小野	
委員 10番 小林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議が整わないこともあるのでは。</li> <li>・協議の過程でそのようなこともあるかも知れない。その場合は現状の指定管理を延長していくことになる。</li> </ul>
農政課長 小野	
委員長 9番 今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、育成牧場に限った指定管理の農協移行だが、研修牧場についても移行の検討をすべきと思うが。</li> <li>・研修牧場は3農協が株主になっており、将来的には協議すべきと思っているが、現段階ではまだ早すぎると考えている。今後検討材料として3農協や理事者の意向も聞きながら慎重に丁寧に取り扱ってきたい。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	
委員長 9番 今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域は酪農環境の連動するゾーンなので、少しでも前に進めてほしいが。</li> <li>・相手がいるので一方的には言えないが、将来を見据えた中であらゆる事を考えて行かなければならない。</li> </ul>
産業振興部長 門脇	
委員長 9番 今西	<p>議事3 その他 産業の動向について (資料で説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別海町内農協別生産乳量集計                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1月～10月 乳量 42万トン (前年対比102.5%)</li> <li>乳代 446億円 (前年対比105.8%)</li> </ul> </li> <li>・農作物生育状況 10/15 2番草 例年より4日早く収穫完了</li> <li>・酪農家離脱状況 離農10戸 (うち8後継者問題) 新規就農2戸 令和2年 生乳生産農家 627戸</li> <li>・家畜市場取引報告 (11月現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>乳用牛 393頭 141百万円</li> <li>肉用牛 5,045頭 762百万円</li> <li>計 5,485頭 (前年比106.3%) 924百万円 (前年比84.7%)</li> </ul> </li> <li>・魚種別水揚げ状況 (11月30日現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>サケ 1,164t (前年比38%) 866百万円 (前年比51%)</li> <li>ホッキ 299t (前年比93%) 99百万円 (前年比78%)</li> <li>全合計 20,266t (前年比70%) 4,795百万円 (前年比54%)</li> <li>ホタテが減少しているが12月から漁が始まっており、まあまあの単価。</li> </ul> </li> <li>・イベント実績及び開催予定 すべて中止</li> <li>・商工観光課所管施設利用状況 (10月末)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>観光入込客 13万人 (前年比45.7%)</li> <li>野付半島55.9%、道の駅62.1%、別海キャンプ場69.1%</li> <li>尾岱沼キャンプ場43.1%、観光船29.1%</li> <li>7月から徐々に上がり10月は対前年比120%だった。</li> </ul> </li> <li>・別海町出身者の就職状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>別海高校 就職希望者31名、内定24名 内定率77.4%</li> <li>全高校 就職希望者38名、内定29名 内定率76.3%</li> <li>内定先は、一般事務、サービス業、製造業が多くなっている。</li> </ul> </li> </ul>
産業振興部長 門脇	

## 令和2年第11回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	9番	今西	質疑なし
委員長	9番	今西	<p>議事2 (1) 別海バイオガス発電(株)の親会社の株式譲渡について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料11ページのとおり、連結子会社の株式譲渡に関するお知らせが届いた。(株)三井E&amp;Sホールディングスの連結子会社である(株)三井E&amp;Sエンジニアリングが保有する別海バイオガス発電(株)の全株を、同社連結子会社である三井E&amp;S環境エンジニアリング(株)に会社分割により継承させた上で、三井E&amp;S環境エンジニアリング(株)の全株式をJFEエンジニアリング(株)に譲渡する決議を12月3日行い、来年4月1日に株式譲渡予定。</li> <li>現在、別海バイオガス発電(株)の株主は、三井E&amp;Sホールディングスの100%子会社の三井E&amp;Sエンジニアリング(旧三井造船)が70%、別海町15%、JA中春別11.4%、JA道東あさひ3.6%。だが、株式譲渡後はJFEエンジニアリング(株)の100%子会社になる三井E&amp;S環境エンジニアリングが70%、別海町15%、JA中春別11.4%、JA道東あさひ3.6%となる。</li> <li>町への説明は、12月4日に関係者が来庁し報告を受けている。</li> <li>株主間協定における株式の譲渡の承認については、来年3月の取締役会で承認を受けたのち4月1日付けで株主が変更になる。</li> <li>別海バイオの運営に大きな影響を与えるものではないと説明を受けているが今後の運営に影響が出ないのか注視したい。</li> </ul>
農政課長		小野	
委員長	9番	今西	
委員	1番	宮越	
農政課長		小野	質疑
委員長	9番	今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい会社から何も話は無かったのか。今後の影響はどうなるのか。</li> <li>譲渡の背景は海外事業の大きな損失が原因で不採算事業の撤退は報道されていた。町も三井E&amp;SエンジニアリングからE&amp;S環境エンジニアリングに変わることは承知していたが、親会社の三井E&amp;SホールディングスからJFEエンジニアリング(株)に代わることは聞いていなかった。</li> <li>運営上の支障ですが、別海バイオガス発電に対する補償等については引き続き継承していくと伝えられた。</li> <li>あと何年かで別海町に譲渡される予定だが、親会社が変わるのは不安がある。譲渡されるまでの間の確約をしっかりと確認することが大事だと思うがどうか。町と2農協が株主なので、連携をどのように進めるのか。</li> <li>親会社が変わることに不安はあるが、副町長が役員であるので、来年以降の取締役会や株主総会でしっかり確約するものと考えている。</li> <li>2農協との連携は、何かあれば情報交換することになっており、別海バイオガス発電の筆頭株主の担当者が今回の譲渡について各農協に説明を行っている。引き続き連携を深めたい。</li> <li>今後どうなるか分からない。情報をつかみながら進めてほしい。</li> <li>町長も追加財政負担は行わないし、赤字経営であれば譲渡も受けないと公表している。今後も情報収集したい。</li> <li>親会社が変わっても別海バイオガス発電の体制は変わらないのか。</li> <li>現在の3人体制は変わらない。運営上支障はない。</li> <li>三井E&amp;S環境エンジニアリングはプラント運営のスペシャリスト、JFEエンジニアリングは旧日本鋼管でごみ処理場など道内でも大きなプラントを稼働させている。運営は心配ないと考えている。別海バイオガス発電の筆頭株主には現在使用している農家に迷惑をかけないようにと伝えている。</li> </ul>
農政課長		小野	
委員長	9番	今西	
農政課長		小野	
委員	11番	瀧川	<p>議事2 (2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業実施の進捗状況について (第5回全員協議会資料で説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P2 7. にぎわい商店街創造事業</li> </ul>
農政課長		小野	
産業振興部長		門脇	
委員長	9番	今西	
商工観光課主幹		堀込	

# 令和2年第11回産業建設常任委員会 要点記録

12/4現在で 18件 7,121千円交付

- ・P2 8、地域経済活動支援事業（プレミアム商品券発行）
 

11月末での利用金額	利用率 75.6%
共通券	95,168千円（190,336枚）
飲食宿泊専用券	15,741千円（31,482枚）
大型犬以外限定券	30,751千円（61,502枚）
合計	141,660千円（283,320枚）

産業振興部次長 小湊

- ・P3 9、学校給食等食材提供事業（43施設）
 

秋サケ 10月～12月	1施設2回提供
ホタテ 12月～3月	1施設4回提供

配布24日間（月4回で43施設配布）⇒ 12日間配布済み（50%）

- ・P3 10、水産系残渣物処理費助成事業  
令和3年3月に支出予定
- ・P3 11、冷凍・冷蔵倉庫保管電気料助成事業  
今月支出予定

委員長 9番 今西

質疑

委員 1番 宮越

商工観光課主幹 堀込

委員 11番 瀧川

商工観光課主幹 堀込

産業振興部次長 小湊

副委員長 6番 大内

商工観光課長 田畑

産業振興部長 門脇

副委員長 6番 大内

商工観光課主幹 堀込

委員長 9番 今西

閉会挨拶

委員長 9番 今西

11:00 閉会

- ・7、にぎわい商店街創造事業の具体的内容は
- ・尾岱沼はスケートリンクでの花火打ち上げに伴うクーポン券の発行。  
町内デリバリー企画等の実施。
- ・8、プレミアム商品券の利用が11月末で75.6%だが、利用を促す対策は。
- ・9、学校給食等食材提供事業で職員が黙って提供物を置いて行ったと話を聞いた。挨拶などの思いやりのある対応はできないか。
- ・プレミアム券は1週間たった時に商工会に進捗を確認したら、85%近くまで利用されていると聞いている。周知は商工会でのチラシ配布、町広報誌、町HP、デリバリー・テイクアウト企画チラシでも利用できる旨の発信をしている。商工会でも、この調子だと年内で利用していただけるものと考えている。
- ・食材提供事業での職員の対応の悪さは今初めて聞いた。まだ事業途中なのでしっかり挨拶するよう指導したい。
- ・プレミアム券 使わなかったらどうなる。今後の経済対策の予定は。
- ・使わなかった場合の補償はない。  
今後の経済対策は、現在アンケートを取っているの、その結果や財源を見て検討したい。
- ・商工会長とも現状について情報交換したが、飲食関係は厳しいと認識しているので、様子を見て年明けに商工会とも再度協議したい。  
今後、財源の補正があるかも知れないので、管内の動向などもみながら適切な時期に検討したい。
- ・プレミアム券 使わなかったら換金できないの。
- ・返品、払い戻しには一切応じないと商品券、チラシにも書いている。